

平成30年度
釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ
活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ		報告者: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 代表 桐木 茂雄					報告年月日: 2019/3/31	
ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H30					総括	
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況		
	②新たな地域食材を知る・活かす (道東の新たな食文化づくり)	—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
		摩周温泉道の駅まつりでのPR活動(おすす め委員会での地域産品のPR)	シーニックカフェプロジェクト 観光交流部会	平成30年7月14日～15日	不特定多数			
		摩周ウインターフェスタでのPR活動(おすす め委員会での地域産品のPR)	シーニックカフェプロジェクト 観光交流部会	平成31年2月9日～10日	不特定多数			
	3)文化や歴史を知る・活かす	①地域の各種文化を知る・活かす	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ のブランド化検討	シーニックカフェプロジェクト 観光交流部会	平成30年7月14日～15日 平成31年2月9日～10日	不特定多数		地域の「歴史」を知り、活かすため、昭和初期に撮影した阿寒や 弟子屈の写真を掲示する「懐かシーニックパネル展」を根室中 標津空港で開催した。
		—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
		②地域の歴史を知る・活かす	懐かシーニックパネル展の開催	景観まちづくり部会	平成30年7月3日～ 平成30年11月30日	不特定多数		
②個性・強みとなる地域資 源や、魅力ある4エリアをつ なぎ・整えることによる、競争 力のある地域(ルート)づくり <整える・つなぐ>	1)地域と資源をつなぐ“道(沿道景 観)”を整える	①沿道の自然と暮らしの佇まいの景観を守る	駐車帯清掃の実施	景観まちづくり部会	平成30年9月1日 平成30年9月22日	約30名	A - 3	地域の「沿道環境」を整える活動として、沿道花壇への植栽や駐 車帯清掃を行い道路の美化を進めた。 沿道の景観を整理・改善として、景観マスタープランの見直しを 行うため弟子屈エリアで現地視察を行った 物語のある道をつくる活動として、昭和初期に撮影した阿寒や 弟子屈の写真を掲示する「懐かシーニックパネル展」を根室中 標津空港で開催したほか、弟子屈空港跡地を利用した「そらの 」森植樹会を開催した。
		リレー清掃への参加	景観まちづくり部会	平成30年6月2日	約300名			
		沿道花壇への植栽	景観まちづくり部会	平成30年6月	主催側 約1000名			
		—	—	—	—	—		
		②沿道の景観を整理・改善する。	駐車帯清掃の実施	景観まちづくり部会	平成30年9月1日 平成30年9月22日	約30名	A - 3	
		リレー清掃への参加	景観まちづくり部会	平成30年6月2日	約300名			
		③物語のあるみちをつくる	懐かシーニックパネル展の開催	景観まちづくり部会	平成30年7月3日～ 平成30年11月30日	不特定多数		
			—	—	—	—	—	
			ルートマガジンの発行	情報広報部会	年1回	不特定多数		
			そらの森 植樹会	景観まちづくり部会	平成30年10月8日	約60名	A - 2	
	④地域が担い・育てる景観づくりを進める	沿道花壇への植栽	景観まちづくり部会	平成30年6月	主催側 約1000名			
		駐車帯清掃の実施	景観まちづくり部会	平成30年9月1日 平成30年9月22日	約30名	A - 3		
		景観マスタープラン 現地視察	運営委員会 景観まちづくり部会	平成30年7月9日	約20名			

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ		報告者: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 代表 桐木 茂雄				報告年月日: 2019/3/31	
ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H30					総括
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況	
2) 観光客を受け入れる環境を整える	①おもてなしの質を整える	シーニックカフェスタッフミーティング	シーニックカフェプロジェクト	平成30年4月16日 平成31年3月5日	約16名		<p>シーニックカフェスタッフによるミーティングを通して、カフェにおいて地域の美味しい食材を届けるとともに、地域の最新情報を提供できるような検討を行った。</p> <p>観光客が地域をドライブする際に、美しい景観の場所とともに地域の美味しいカフェを巡るようなスタンプラリーを実施した。</p> <p>道の駅摩周温泉において、長期滞在者を含めた施設利用者に対して、手作りの情報掲示板において情報の提供した。</p>
		—	—	—	—		
		くしろ・ねむろ ぐるっと！スタンプラリーの実施	シーニックカフェプロジェクト	平成30年4月28日～ 平成30年10月31日	一般参加 (応募者) 1,098名		
		—	—	—	—		
		てしかが情報掲示板での地域情報の提供	運営委員会	通年	不特定多数	A - 1	
		シーニック情報スペースでの地域情報の提供	運営委員会	通年	不特定多数		
	②既存施設の質を整える	—	—	—	—		
		てしかが情報掲示板での地域情報の提供	運営委員会	通年	不特定多数		
		シーニック情報スペースでの地域情報の提供	運営委員会	通年	不特定多数		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
3) 地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する	①地域の魅力(景観)をつないだ感動ドライブコースの提供	道東エンジョイマップの作成と配布	情報広報部会 観光交流部会 シーニックカフェプロジェクト	年3回(夏期、秋期、冬期)	約2万6千部	<p>観光客が地域をドライブする際に景観の良いルートや場所、美味しいカフェといった地域の魅力をうまく巡れるような情報媒体を作成し提供した。</p>	
	②地域の魅力(体験)をつないだ道東ツーリズムの提供	—	—	—	—		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
		北根室ランチウェイとの連携活動	シーニックカフェプロジェクト	非積雪期	不特定多数		
4) 各種情報を伝える・蓄える	①HP・各種広報誌等による情報提供	HP、Facebook、Instagramによる地元情報の発信	情報広報部会	通年	不特定多数	<p>SNSを利用し「顔が見える」「匂が伝わる」をテーマに観光情報等の「ヒト・モノ・コト」の情報発信を行った。</p> <p>地域を巡る観光客が安全、快適に地域のドライブルートを走行し、景観の良い場所やおいしいカフェを訪れるように、地域マップやSNSでの情報提供を行った。</p> <p>中標津町の地域FMである「FMなかしべつ(FMはな)」において、シーニックラジオを月に2回放送を行った。</p>	
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
		—	—	—	—		
道東エンジョイマップの作成と配布	情報広報部会 観光交流部会 シーニックカフェプロジェクト	年3回(夏期、秋期、冬期)	約2万6千部				
ルートマガジンの発行	情報広報部会	年1回	不特定多数				
—	—	—	—				
FMIはなでのシーニックラジオの放送	情報広報部会	月2回水曜日放送	不特定多数				

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ		報告者: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 代表 桐木 茂雄				報告年月日: 2019/3/31		
ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H30					総括	
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況		
	②観光案内施設等による情報提供	—	—	—	—			
		道東エンジョイマップの作成と配布	情報広報部会 観光交流部会 シーニックカフェプロジェクト	年3回(夏期、秋期、冬期)	約2万6千部			
		—	—	—	—			
		—	—	—	—			
		ルートマガジンの発行	情報広報部会	年1回	不特定多数			
		てしかが情報掲示板での地域情報の提供	運営委員会	通年	不特定多数	A - 1		
		シーニック情報スペースでの地域情報の提供	運営委員会	通年	不特定多数			
③各種情報の蓄積(アーカイフづくり)	①地域(こども達)への環境教育	HP、Facebook、Instagramによる地元情報の発信	情報広報部会	通年	不特定多数			
		1) 自然と共に生きる意識を育てる ③地域内資源循環の実現による、持続可能な地域(ルート)づくり <創る・整える>	そらの森 植樹会	景観まちづくり部会	平成30年10月8日	約60名	A - 2	平成22年度より継続して実施しているそらの森(弟子屈飛行場跡地)での森づくり活動を本年も実施し、地域の子供たちと一緒に駐車帯の清掃活動も実施した。 木育活動として、地域の樹木を活用したカトラリーづくりを行った。 釧路湿原・阿寒・摩周観光圏メンバーとして情報提供・検討会への参加・協力を行った。
			駐車帯清掃の実施	景観まちづくり部会	平成30年9月1日 平成30年9月22日	約30名	A - 3	
			木育教室の開催	景観まちづくり部会	平成30年11月3日	約40名		
		②来訪者(観光客)へのインタープリテーション	—	—	—	—		
			ルートオリジナルグッズの販売	シーニックカフェプロジェクト	通年	不特定多数		
		2) 自然を保全・活用する仕組みを創る	①自然を守るルールをつくる	—	—	—	—	
②自然を保護・育成する仕組みをつくる	—		—	—	—			
そらの森 植樹会	景観まちづくり部会		平成30年10月8日	約60名	A - 2			
ルートオリジナルグッズの販売	シーニックカフェプロジェクト		通年	不特定多数				
3) 循環型社会のビジネスモデルを育てる	①コミュニティビジネスを育てる	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイのブランド化検討	シーニックカフェプロジェクト 観光交流部会	平成30年7月14日～15日 平成31年2月9日～10日	不特定多数		ルートの特産品のブランド化に向けた調査、検討を行った。 コミュニティビジネスとしてシーニックカフェミーティングを行った。 地域経済循環の仕組みとして、てしかが情報掲示板により入浴施設・飲食施設・宿泊施設など町内へ誘導を行った。	
		—	—	—	—			
		—	—	—	—			
		シーニックカフェスタッフミーティング	シーニックカフェプロジェクト	平成30年4月16日 平成31年3月5日	約16名			
	②地域経済循環の仕組みを創る	てしかが情報掲示板での地域情報の提供	運営委員会	通年	不特定多数			

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

Clear Stream Scenic Byway

活動名：てしかが情報掲示板での地域情報の提供
(運営委員会)

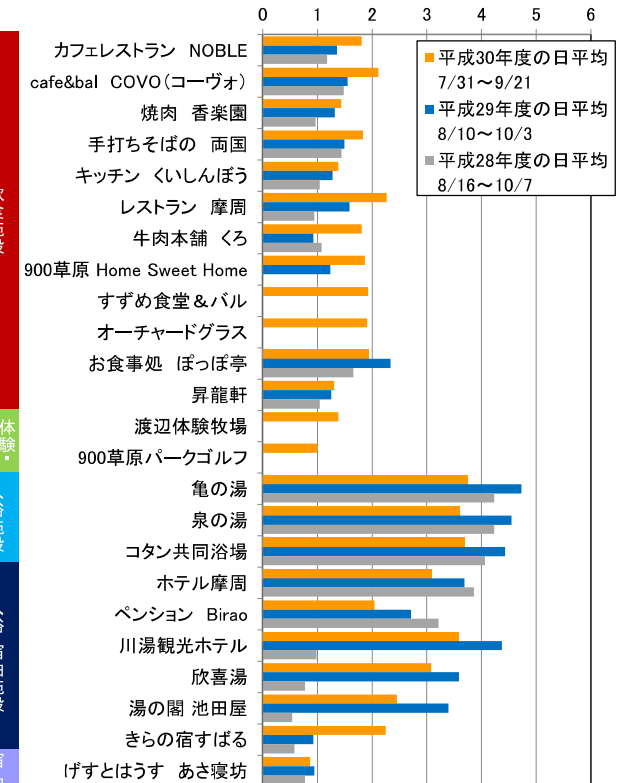
【概要】 夜間を含めて長期滞在者の多い「道の駅摩周温泉」において、地域手作りのアナログ情報板（てしかが情報掲示板）に入浴施設や飲食施設、宿泊施設のインフォメーションカードを置くことによって、地域情報を提供し、配布枚数による調査によって利用者のニーズを分析した。さらに、一部店舗について、インフォメーションカードの裏面にクーポン機能を持たせることで、実際にカードを入手した人の行動変化を追跡調査した。

【日時】 通年（クーポンの有効期間：平成30年8月～平成30年10月末）

【場所】 道の駅摩周温泉

【主催】 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 運営委員会

平成28年度～平成30年度の日平均持去枚数の比較



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

A-2

Clear Stream Scenic Byway

活動名：そらの森 植樹会（景観まちづくり部会）
ルートオリジナルグッズの販売（シーニックカフェP）

【概要】 景観まちづくり部会では、そらの森（弟子屈飛行場跡地）での植樹活動を継続的に実施している。地域の子供達や障がい者とともに、飛行場跡地の植樹活動を通じて、カーボンオフセットのシーニックの森づくりを行った。継続的な森づくりには維持、管理の経費も必要となることから、Tシャツやタンブラーなどのルートオリジナルグッズの販売を行い、売上金の一部をそらの森の苗木代、維持管理費として活用している。

【日時】 平成30年10月8日 9時～14時

【場所】 そらの森（弟子屈町飛行場跡地：一般国道241号沿い）

【主催】 景観まちづくり部会、シーニックカフェプロジェクト

【参加人数】 約60名



参加者の集合写真



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

A-3

Clear Stream Scenic Byway

活動名：駐車帯での景観改善活動と景観保全活動
(景観まちづくり部会)

【概要】平成26年度から、弟子屈エリアにて、道路景観を改善するための活動としてルート内の駐車帯の清掃を開始。平成29年度からは、阿寒湖エリアにて同様の駐車帯清掃を実施しており、平成30年度の2つのエリアで景観改善活動を実施した。

【場所】①弟子屈町周辺の駐車帯：R241 奥春別付近、R243 屈斜路付近、R243美幌峠～屈斜路間
②阿寒湖畔周辺の駐車帯：R240 飽別～阿寒湖畔、R240・241 とるば（滝見橋駐車帯）
R241 双岳台・双湖台、R241 オクルシベ付近

【日時】①平成30年9月1日、②平成30年9月22日

【主催】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 景観まちづくり部会

【参加人数】①21名、②11名



4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者: 釧路開発建設部	報告年月: 2019/3/29
-----------------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	活動No	平成30年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括
①地域の資源を知る・活かすことによる、多様な道東ブランドづくり <知る・活かす>	1)地域を知る・活かす(自然・景観・産業) 2)食を知る・活かす 3)文化や歴史を知る・活かす		懐かシーニックパネル展の開催	平成30年7月3日～平成30年11月30日	釧路開発建設部	・根室中標津空港ロビーにて行われた釧路開発建設部事業広報パネル展を活用し、阿寒・摩周の昭和初期の写真を展示する「懐かシーニックパネル展」を開催した。	・次年度以降も着実に取り組んで参りたい。
			そらの森植樹祭	平成30年10月8日	釧路開発建設部 弟子屈町	・弟子屈町内で開催された植樹会に釧路開発建設部、弟子屈町から職員が参加。	
			木育教室	平成30年11月3日	釧路開発建設部	・弟子屈町内で開催された木育教室に釧路開発建設部が参加。	
			道東道開通PR活動でのルート紹介等パンフレット配布	通年	釧路開発建設部 釧路市	・道東道開通PRイベント等において、釧路ルートのパネル展示や開通告知パンフレット配布の際にシーニックバイウェイ関連のパンフレットを配布し情報発信を行った。	
②個性・強みとなる地域資源や、魅力ある4エリアをつなぎ・整えることによる、競争力のある地域(ルート)づくり <整える・つなぐ>	1)地域と資源をつなぐ“道(沿道景観)”を整える 2)観光客を受け入れる環境を整える 3)地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する 4)各種情報を伝える・蓄える		摩周湖クリーンウォーク	平成30年6月2日	釧路開発建設部 弟子屈町	・弟子屈町で開催された摩周湖クリーンウォークに、釧路開発建設部、弟子屈町役場の職員が参加。	・行政連絡会議構成メンバー間の情報共有を密にするとともに、無理のない範囲で積極的な広報活動に取り組んだ。 ・次年度以降も着実に取り組んで参りたい。
			沿道花壇への植栽	平成30年6月	釧路開発建設部	・VSP活動の一環として釧路開発建設部から花苗等を提供した。	
			沿道ゴミ拾いクリーンウォーク	平成30年9月1日	釧路開発建設部 弟子屈町、阿寒摩周国立公園管理事務所	・釧路市阿寒町及び弟子屈町にて開催されたクリーンウォークに、釧路開発建設部、弟子屈町役場、阿寒摩周国立公園管理事務所の職員が参加。	
			阿寒湖リバーサイドクリーンウォーク	平成30年9月22日	釧路開発建設部	・釧路市阿寒地区にて開催された阿寒湖周辺及び駐車帯清掃に釧路開発建設部職員が参加。	
			シーニックカフェへの観光パンフレットの提供	通年	釧路市、標茶町、弟子屈町、中標津町、別海町、鶴居村	・ルート内各自治体が観光パンフレットを提供することにより、シーニックカフェから魅力的な地域情報発信を行った。	
			くしろ・ねむろ ぐるっと！スタンプラリーへの協力	平成30年4月28日～平成30年10月31日	釧路開発建設部	・スタンプラリー実施にあたり、釧路開発建設部では、参加各「道の駅」との調整や報道発表を行った。	
			道東エンジョイマップの発行・配布	年3回(夏期、秋季、冬期)	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイルート運営行政連絡会議	・道東エンジョイマップの発行にあたり、中面ヒヤリハットマップの作成と道の駅やレンタカー会社への配布、報道発表を釧路開発建設部が行った。 ・施設内で来客者向けにマップの提供を行った。	
			シーニック情報提供スペースの常設	平成30年9月末から	弟子屈町 釧路開発建設部	・「道の駅」摩周温泉内にシーニックコーナーを常設し、場所の提供を弟子屈町が行った。釧路開発建設部は、他ルートパンフレット収集・配布によるPRを行った。	
			広報(ホームページ)	通年	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイルート運営行政連絡会議	・各組織のHPヘルートHPバナーやリンクを掲載し、ルートのPRを行った。	

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者: 釧路開発建設部	報告年月: 2019/3/29
-----------------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	活動No	平成30年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括
			広報(ポスターの掲示)	通年	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイルート運営行政連絡会議	・ルートのポスターを各行政機関にて掲示することで、ルートのPRを行った。	
			広報(パネル展の実施)	平成30年8月4日	釧路開発建設部	・「くしろ港まつり」で行われた開発局事業広報活動の「はたらくるま&郷土芸能フェスティバル」にて、事業広報パネル展と合わせて道東エンジョイマップ等を配布することでPRを行った。	
			広報(リーフレット類の庁舎内展示)	通年	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイルート運営行政連絡会議	・道東エンジョイマップ等を庁舎内に展示することにより、ルートのPRを行った。	
			広報(ルート活動の広報誌掲載)	11月	弟子屈町、釧路開発建設部	・弟子屈町はルートの活動(そらの森)を広報誌に掲載することで住民へのPRを行った。 ・釧路開発建設部では部内職員に向けたルート活動のPRのため、部内広報誌に活動記事の掲載を行った。	
			広報(ルート活動の報道発表)	9月	釧路開発建設部	・「そらの森植樹祭」実施に当たり、活動PRのため報道発表および「北海道シーニックバイウェイ」トピックへの掲載を行った。	
			広報(ルート看板の国道への設置)	通年	釧路開発建設部	・ルート上の国道に「シーニックバイウェイ北海道」の看板を設置した。	
			広報(道路情報板へのシーニックマークの掲示)	通年	釧路開発建設部	・国道上に設置している道路情報板へシーニックロゴとルート名を掲示し、ルートのPRを行った。	
			広報(行政連絡会議通信の配布及び庁舎内展示)	通年	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイルート運営行政連絡会議	・釧路開発建設部が行政連絡会議通信の作成・配布を行った。 ・庁舎内展示により、一般の利用者へルート活動情報のPRを行った。	
③地域内資源循環の実現による、持続可能な地域(ルート)づくり<創る・整える>	1)自然と共に生きる意識を育てる 2)自然を保全・活用する仕組みを創る 3)循環型社会のビジネスモデルを育てる		そらの森植樹祭	平成30年10月8日	釧路開発建設部 弟子屈町	・弟子屈町内で開催された植樹会に釧路開発建設部、弟子屈町から職員が参加。	・次年度以降も着実に取り組んで参りたい。
			木育教室	平成30年11月3日	釧路開発建設部	・弟子屈町内で開催された木育教室に釧路開発建設部が参加。	